一般競争入札における1者応札の取扱いの変更について

令和4年12月14日
茨城県土木部監理課

建設工事の一般競争入札における1者応札の取扱いについて、円滑な事業進捗を図るため、茨城県土木部発注工事においては下記のとおりとし、**令和5年1月1日以降に入札公告を行う工事から適用**することとしましたので、お知らせいたします。

■一般競争入札における1者応札の取扱いについて

【現行】

- (1) 応札可能業者が県内本店業者のみの場合
 - ・入札参加者が1者のみの場合は、入札を取り止める。
 - ・再度公告して行う入札において、入札参加者が再度1者になった場合は、入札は有効として取り扱う。
- (2) 応札可能業者に県外本店業者が含まれる工事の場合
 - ・入札参加者が1者のみの場合でも、入札は有効として取り扱う。

【変更】

- (1) 応札可能業者が県内本店業者のみの場合（今回変更）
 - ① 格付5業種（土木一式、建築一式、電気、管、舗装）以外の専門工事であって、かつ応札可能業者が30者以上である場合
 - ・入札参加者が1者のみの場合でも、入札は有効として取り扱う。
 - ② ①以外の場合
 - ・入札参加者が1者のみの場合は、入札を取り止める。
 - ・再度公告して行う入札において、入札参加者が再度1者になった場合は、入札は有効として取り扱う。
- (2) 応札可能業者に県外本店業者が含まれる工事の場合（変更なし）
 - ・入札参加者が1者のみの場合でも、入札は有効として取り扱う。

【注意】

- ・低入札価格調査及び最低制限価格により失格となった入札者及び予定価格超過の入札者については、入札参加として取り扱いません。
- ・入札を辞退した者やとりおりなどにより入札が無効となった者は入札参加として取り扱いません。
- ・特定JVの場合、構成員に県外本店業者が含まれる場合は、県外本店業者として取り扱います。
- ・個別案件ごとの1者応札の取扱いについては、入札公告を確認願います。